

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

1.0.1 物質情報

CAS番号	107-18-6	107-18-6
物質名(日本語名)	2-プロペン-1-オール	2-プロペン-1-オール
物質名(英名)	allyl alcohol	allyl alcohol
別名等	1-PROPEN-3-01; 1-PROPENOL-3; 2-PROPEN-1-OL; 2-PROPENYL ALCOHOL; 2-propen-1-01; 3-HYDROXYPROPEEN, HYDROXYALLYLEEN, ALFA-MONOHYDROXYPROPEEN, 2-PROPEEN-1-OL; 3-HYDROXYPROPEN; ALLYLIC ALCOHOL; PROPEN-1-01-3; PROPENYL ALCOHOL; allyl alcoholde; propenol; vinylcarbinol, propenyl alcohol, allylic alcohol	1-PROPEN-3-01; 1-PROPENOL-3; 2-PROPEN-1-OL; 2-PROPENYL ALCOHOL; 2-propen-1-01; 3-HYDROXYPROPEEN, HYDROXYALLYLEEN, ALFA-MONOHYDROXYPROPEEN, 2-PROPEEN-1-OL; 3-HYDROXYPROPEN; ALLYLIC ALCOHOL; PROPEN-1-01-3; PROPENYL ALCOHOL; allyl alcoholde; propenol; vinylcarbinol, propenyl alcohol, allylic alcohol
国内適用法令の番号	2-260	2-260
国内適用法令物質名	2-プロペン-1-オール	2-プロペン-1-オール
OECD/HPV名称	Propen-1-ol	Propen-1-ol
分子式	C3H6O	
構造式	$\text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OH}$	
備考	NITE CHRIPより引用	

1.0.2 安全性情報収集計画/報告書作成者に関する情報

機関名	ARCO Chemie Nederland, Ltd	ARCO Chemie Nederland, Ltd
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	CHEMIMPO BV	CHEMIMPO BV
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	Vat Chemicals B.V.	Vat Chemicals B.V.
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	Rhone-Poulenc Chimie	Rhone-Poulenc Chimie
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	ARCO CHIMIE FRANCE SNC.	ARCO CHIMIE FRANCE SNC.
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	Rhone-Poulence Chimie	Rhone-Poulence Chimie
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	Rhone-Poulenc Chemie	Rhone-Poulenc Chemie
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	EIGENMANN & VERONELLI S.P.A.	EIGENMANN & VERONELLI S.P.A.
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

機関名	SHOWA DENKO (EUROPE) GmbH	SHOWA DENKO (EUROPE) GmbH
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

1.0.3 カテゴリー評価

1.1 一般的な物質情報

物質のタイプ	有機化合物	organic
物質の色・におい・形状等の情報		
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体	liquid
純度(重量/重量%)		
出典		
備考		

物質のタイプ	有機化合物	organic
物質の色・におい・形状等の情報		
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体	liquid
純度(重量/重量%)	99.5 % (w/w) より大	99.5 % (w/w) >;
出典		
備考		

物質のタイプ	有機化合物	organic
物質の色・におい・形状等の情報		
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体	liquid
純度(重量/重量%)	99.5 % (w/w) 以上	99.5 % (w/w) >=
出典		
備考		

物質のタイプ	有機化合物	organic
物質の色・におい・形状等の情報		
物理的状態(20℃、1013hPa)	固体	solid
純度(重量/重量%)	95 % (w/w) より大	95 % (w/w) >;
出典		
備考		

物質のタイプ	有機化合物	organic
物質の色・におい・形状等の情報		
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体	liquid
純度(重量/重量%)	99.5 % (w/w) 以上	99.5 % (w/w) >=
出典		
備考		

1.2 不純物

1.3 添加物

1.4 別名

物質名	3-HYDROXYPROPEEN, HYDROXYALLYLEEN, ALFA-MONOHYDROXYPROPEEN, 2-PROPEEN-1-OL	3-HYDROXYPROPEEN, HYDROXYALLYLEEN, ALFA-MONOHYDROXYPROPEEN, 2-PROPEEN-1-OL
出典		
備考		

物質名	2-PROPEN-1-OL	2-PROPEN-1-OL
出典		
備考		

物質名	1-PROPENOL-3	1-PROPENOL-3
出典		
備考		

物質名	PROPEN-1-01-3	PROPEN-1-01-3
出典		
備考		

物質名	1-PROPEN-3-01	1-PROPEN-3-01
出典		
備考		

物質名	PROPENYL ALCOHOL	PROPENYL ALCOHOL
出典		
備考		

物質名	2-PROPENYL ALCOHOL	2-PROPENYL ALCOHOL
出典		
備考		

物質名	ALLYLIC ALCOHOL	ALLYLIC ALCOHOL
出典		
備考		

物質名	3-HYDROXYPROPEN	3-HYDROXYPROPEN
出典		
備考		

物質名	3-HYDROXYPROPEN	3-HYDROXYPROPEN
出典		
備考		

物質名	2-propen-1-01; propenol; allyl alcoholde; vinylcarbinol, propenyl alcohol, allylic alcohol	2-propen-1-01; propenol; allyl alcoholde; vinylcarbinol, propenyl alcohol, allylic alcohol
出典		
備考		

1.5 製造・輸入量

1.6 用途情報

1.7 環境および人への暴露情報

暴露に関する情報		
出典		
備考	アリルアルコールの蒸気は、眼、肺、皮膚、粘膜に対する刺激性を有する。 アリルアルコールは強力な催涙剤である。 眼刺激性の発症は遅れることがある。顕著な眼刺激性は5 ppmで生じ、重度の刺激性は25 ppmで生じる。これは呼吸器や肺組織にも当てはまる。	Allyl Alcohol vapor is irritating to eyes, lungs, skin and mucous membranes. Allyl Alcohol is a potent lachrymator. The onset of eye irritation may be delayed. Noticeable eye irritation occurs at 5 ppm with severe irritation occurs at 25 ppm. This is valid also for upper respiratory organs and lung tissue.

暴露に関する情報		
出典		
備考	Substance produite au Japon par SHOWA DENKO	Substance produite au Japon par SHOWA DENKO

1.8 追加情報

既存分類		
職業暴露限界	5 mg/m3 [MAC (NL)]	5 mg/m3 [MAC (NL)]
廃棄方法		
文献調査の範囲と日付		
出典		
備考		

既存分類		
職業暴露限界	5 mg/m3 [MAC (NL)]	5 mg/m3 [MAC (NL)]
廃棄方法		
文献調査の範囲と日付		
出典		
備考		

既存分類		
職業暴露限界	5 mg/m3 [英国職業暴露基準(UK)] (短時間暴露限界: 10 mg/m3 暴露時間: 15 分)	5 mg/m3 [OES (UK)] (短時間暴露限界: 10 mg/m3 暴露時間: 15 minute(s))
廃棄方法		
文献調査の範囲と日付		
出典		
備考		

既存分類		
職業暴露限界	5 mg/m3 [TLV (US)] (短時間暴露限界: 10 mg/m3 暴露時間: 15 分)	5 mg/m3 [TLV (US)] (短時間暴露限界: 10 mg/m3 暴露時間: 15 minute(s))
廃棄方法		
文献調査の範囲と日付		
出典		
備考		

既存分類		
職業暴露限界	5 mg/m3 [その他: VLE (FR)] (短時間暴露限界: 10 mg/m3 暴露時間: 15 分)	5 mg/m3 [other: VLE (FR)] (短時間暴露限界: 10 mg/m3 暴露時間: 15 minute(s))
廃棄方法		
文献調査の範囲と日付		
出典		
備考		

既存分類		
職業暴露限界	2 その他 [TLV (US)]	2 other [TLV (US)]
廃棄方法		
文献調査の範囲と日付		
出典		
備考		

2.1 融点

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
結果		
融点: °C	-129	-129 =
分解: °C		
昇華: °C		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(1)	(1)
備考		

2.2 沸点

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
結果		
沸点: °C	96.9	96.9 =
圧力	1033 hPa	1033 hPa
分解: °C		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(1)	(1)
備考		

2.3 密度(比重)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
結果	.842	.842 =
タイプ	相対密度	relative density
温度: °C	20	20
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(1)	(1)
備考		

2.4 蒸気圧

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
結果		
蒸気圧	25 hPa	25 hPa =
温度: °C	20	20
分解: °C		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(1)	(1)
備考		

2.5 分配係数(log Kow)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年	1985	1985
試験条件		
結果		
Log Kow	.17	.17 =
温度: °C		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(2)	(2)
備考		

2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
結果		
水溶解度		
温度: °C	20	20
pH		
pH測定時の物質濃度		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(1) (3) (4)	(1) (3) (4)
備考	相溶性	Miscible
解離定数		
試験物質		
同一性		
方法		
温度: °C	20	20
GLP		
試験条件		
試験を行った年		
結果		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(1) (3) (4)	(1) (3) (4)
備考	相溶性	Miscible

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他(測定)	other (measured)
GLP	データなし	no data
試験を行った年	1988	1988
試験条件		
結果		
水溶解度	317 g/L	317 g/L =
温度: °C		
pH		
pH測定時の物質濃度		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(5)	(5)
備考		
解離定数		
試験物質		
同一性		
方法	その他(測定)	other (measured)
温度: °C		
GLP	データなし	no data
試験条件		
試験を行った年	1988	1988
結果		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(5)	(5)
備考		

2.6.2 表面張力

2.7 引火点(液体)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他: 試験条件を見よ	other: see test conditions
GLP		
試験を行った年	1990	1990
試験条件	温度25°C、水分45%。 大気圧:760mm Hg。	Temperature 25 degree C, Moisture 45 %.Atmospheric Pressure : 760 mm Hg.
結果		
引火点: °C	21.5	21.5 =
試験のタイプ	密閉式	closed cup
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(6)	(6)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他	other
GLP	データなし	no data
試験を行った年		
試験条件		
結果		
引火点: °C	21	21 =
試験のタイプ	密閉式	closed cup
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(4)	(4)
備考		

2.8 自己燃焼性(固体/気体)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年	1985	1985
試験条件		
結果		
自動発火点: °C	443	443 =
圧力		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(7)	(7)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年	1983	1983
試験条件		
結果		
自動発火点: °C	378	378 =
圧力		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(8)	(8)
備考		

2.9 引火性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
試験条件		
結果		
固体の場合		
引火性が高い		
気体の場合		
水との接触		
結論	引火性がある	flammable
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(9)	(9)
備考	ほぼ通常の温度条件の下で火をつけられることができる液体。水はおそらく中にある。NFPA分類法:3.3	Liquid which can be ignited under almost normal temperature conditions. Water may be in. NFPA classification : 3.3

2.10 爆発性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
GLP		
試験を行った年	1985	1985
試験条件		
結果		
火により爆発		
m-ジニトロベンゼンより摩擦に敏感		
m-ジニトロベンゼンより衝撃に敏感		
爆発性ない		
その他		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(10)	(10)
備考	爆発性限界と可能性 下限2.5vol %;上限18vol %(空気で)。爆発障害:中等度 ― 炎に暴露されたとき。	Explosive Limits and Potential Lower 2.5 Vol % ; Upper 18 Vol % (in Air). Explosion hazard : Moderate, when exposed to flame.

2.11 酸化性

2.12 酸化還元ポテンシャル

2.13 その他の物理化学的性状に関する情報

3.1.1 光分解

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他(算出)	other (calculated)
タイプ	空気	air
GLP		
試験を行った年	1980	1980
光源と波長(nm)	光源: 日光	光源: sunlight
太陽光強度に基づいた相対強度		
物質のスペクトル		
試験条件	空気	air
結果		
物質濃度		
温度(°C)		
直接光分解		
半減期t1/2		
分解度(%)と時間		
量子収率(%)		
間接光分解		
増感剤(タイプ)	OH	OH
増感剤濃度	.00005 molecule/cm3	.00005 molecule/cm3
速度定数		
半減期t1/2		
分解生成物		
結論		
注釈		

信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(11)	(11)
備考	速度定数:25.9cm ³ /molecule.sec. この速度定数は、t1/2 14.7 hr と表せる	Rate constant: 25.9 cm ³ /molecule.sec. This rate constant translates into a t1/2 of 14.7 hr.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他(算出)	other (calculated)
タイプ	空気	air
GLP		
試験を行った年	1986	1986
光源と波長(nm)	光源: 日光	光源: sunlight
太陽光強度に基づいた相対強度		
物質のスペクトル		
試験条件	空気	air
結果		
物質濃度		
温度(°C)		
直接光分解		
半減期t1/2		
分解度(%)と時間		
量子収率(%)		
間接光分解		
増感剤(タイプ)	OH	OH
増感剤濃度		
速度定数		
半減期t1/2		
分解生成物		
結論		
注釈	半減期は6.03時間であると測定された。大気中のアリルアルコールは、水酸ラジカルとの反応が顕著な結果であると思われる。	A half life of 6.03 hr was estimated. The predominant fate of allyl alcohol in the atmosphere is expected to be reaction with OH radicals.
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(12)	(12)
備考	方法:GEMSのAtmosphericなPollutants Portionを使用して算出。	Method: calculated using Fate of Atmospheric Pollutants Portion of GEMS.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	1.1-1.4章において前述	as prescribed by 1.1 - 1.4
注釈		
方法	その他	other
タイプ	水	water
GLP	データなし	no data
試験を行った年	1985	1985
光源と波長(nm)	波長: 290 より大	波長: 290 >;
太陽光強度に基づいた相対強度		
物質のスペクトル		
試験条件	水	water
結果		
物質濃度	13.5 mg/L	13.5 mg/L
温度(°C)		
直接光分解		
半減期t1/2		
分解度(%)と時間		
量子収率(%)		
間接光分解		
増感剤(タイプ)	OH	OH
増感剤濃度		
速度定数		
半減期t1/2	14.9	14.9 =
分解生成物		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(13)	(13)
備考	物質の濃度:13.5mg/l 水溶液、pH 5.9。 方法:(OHラジカルが過酸化水素の光分解によって発生した水溶液、3時間の暴露。	Concentration of substance: 13.5 mg/l aqueous solution, pH 5.9. Method: aqueous solution where OH radicals were generated by the photolysis of hydrogen peroxide, 3 hr exposure.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他(算出)	other (calculated)
タイプ	水	water
GLP		
試験を行った年	1967	1967
光源と波長(nm)	光源: 日光	光源: sunlight
太陽光強度に基づいた相対強度		
物質のスペクトル		
試験条件	水	water
結果		
物質濃度		
温度(°C)		
直接光分解		
半減期t1/2		
分解度(%)と時間		
量子収率(%)		
間接光分解		
増感剤(タイプ)	OH	OH
増感剤濃度		
速度定数	.00000000129	.00000000129 =
半減期t1/2		
分解生成物		
結論		
注釈		

信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(14)	(14)
備考	水pH 7。	Water pH 7.

試験物質名	2-ブロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
タイプ	水	water
GLP		
試験を行った年		
光源と波長(nm)		
太陽光強度に基づいた相対強度		
物質のスペクトル		
試験条件	水	water
結果		
物質濃度		
温度(°C)		
直接光分解		
半減期t1/2		
分解度(%)と時間		
量子収率 (%)		
間接光分解		
増感剤(タイプ)		
増感剤濃度		
速度定数		
半減期t1/2		
分解生成物		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献		
備考		

試験物質名	2-ブロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他(算出)	other (calculated)
タイプ	水	water
GLP		
試験を行った年	1976	1976
光源と波長(nm)	光源: 日光	光源: sunlight
太陽光強度に基づいた相対強度		
物質のスペクトル		
試験条件	水	water
結果		
物質濃度		
温度(°C)		
直接光分解		
半減期t1/2		
分解度(%)と時間		
量子収率 (%)		
間接光分解		
増感剤(タイプ)	OH	OH
増感剤濃度		
速度定数	.000000012	.000000012 =
半減期t1/2		
分解生成物		
結論		
注釈	一定の割合は、1.8年の1/2に変換する。	The constant rate translates into a t1/2 of 1.8 years.
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(15)	(15)
備考	感作物質の濃度:10 E-17 molar(擬一次を推定)。	Concentration of sensitizer: 10 E-17 molar (pseudo first order estimated).

3.1.2 水中安定性(加水分解性)

3.1.3 土壌中安定性

試験物質名	2-ブロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他	other
GLP		
試験を行った年		
試験条件	土壌湿気:1%と2.19%の湿度の間:40%の最大保水力。 土壌の乾燥重量:100g. AALの処理割合:970 ppm. 抽出間隔:砂 4、6、8、12、19、30、85日処理後 砂質ローム 4、6、8、10、12、18、25、36、85。 アリルアルコール-2、-3、14C(比活性0.46mci/mmol。p-メキシ2mgフェノールで707mg)。	Soil humidity : between 1 and 2.19 % Moisture : 40 % of maximum water-holding capacity. Dryweight of soil : 100 g. Application rate of AAL : 970 ppm. Sampling interval : Sand 4, 6, 8, 12, 19, 30, 85 days after treatment, Sandy loam 4, 6, 8, 10, 12, 18, 25, 36, 85. Allyl alcohol-2, -3, 14C (Specific activity 0.46 mci/mmol. 707 mg with 2 mg p-methoxy phenol).
試験期間		
結果		
試験のタイプ		
放射性ラベル	はい	yes
濃度	970 mg/kg soil d.w.	970 mg/kg soil d.w.
土壌温度 °C	22	22
土壌中pH	6.9 ~ 6.1	6.9 ~ 6.1
土壌中湿度 (%)	2.19 土壌乾燥重量(100g当りの水分量(g))	2.19 g water/100g soil dry weight
土壌のクラス	その他: sand sandy loam	other:: sand sandy loam
粘土含量 (%)	16.4 ~ 21.6	16.4 ~ 21.6
有機炭素 (%)	2.9 ~ 1	2.9 ~ 1
陽イオン交換能		
微生物バイオマス濃度		
消失時間(DT50、DT90)	(DT50) 4 ~ 8 日 未満 (DT90) 7 ~ 27 日	(DT50) 4 ~ 8 d <; (DT90) 7 ~ 27 d

分解生成物		
時間ごとの消失率		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(16)	(16)
備考	残基の半減期は、砂状ロームより、砂中よほうが長い。これは、より高い有機体炭素含量によって説明される可能性がある。ここで示されるデータは、少なくとも実験の最初の30日間は、抽出不可能な残基の結合部位は、有機物だけでなく無機質な土壌成分でもあることを示した。	The half-life of residues is longer in the sand than in the sandy loam. This may be explained by the higher organic carbon content. The data presented here suggest that binding site of unextractable residues is not only the organic matter but also inorganic soil constituents at least during the first 30 days of experiment.

3.2. モニタリングデータ(環境)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
測定タイプ(地点)		
媒体	空気	air
結果		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(17)	(17)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
測定タイプ(地点)	その他	other:
媒体	空気	air
結果		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(18)	(18)
備考	アリルアルコールは、内燃機関からの排出ガスで質的に見つけられた。	Allyl alcohol was qualitatively detected in exhaust gases from internal combustion engines.

3.3.1 環境区分間の移動

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	揮発性	volatility
結果		
媒体	水-空気	water - air
環境分布予測と媒体中濃度(levell/III)		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(19)	(19)
備考	摂氏25℃で、4.9E-6atm. m3/moleのヘンリーの法則定数に基づく、アリルアルコールは、水からゆっくりと空気中に移動する傾向にある。	Based on a measured Henry Law Constant of 4.9 E-6 atm. m3/mole at 25 degree celsius, allyl alcohol will tend to migrate only slowly from water to air.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	揮発性	volatility
結果		
媒体	土壌-空気	soil - air
環境分布予測と媒体中濃度(levell/III)		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(20)	(20)
備考	摂氏25℃で28.1mmHgの蒸気圧力値に基づく、アリルアルコールは高い揮発性を持たない。	Based on a vapour pressure value of 28.1 mmHg measured at 25 degree celsius, allyl alcohol is not highly volatile.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	吸着	adsorption
結果		
媒体	水-土壌	water - soil
環境分布予測と媒体中濃度(levell/III)		
結論	計算値土壌吸着係数:4.37.	Calculated soil adsorption coefficient: 4.37.
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(21)	(21)
備考	土壌吸着係数の値は、アリルアルコールが土壌で高い移動性を持つことを示す。	The value of the soil adsorption coefficient indicates that allyl alcohol may display high mobility in soil.

3.3.2 分配

3.4 好気性生分解性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
培養期間		
接種源	好気性細菌	????A??山??
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
試験物質濃度	100 mg/l	100 mg/l
汚泥濃度		
培養温度 °C		
対照物質および濃度(mg/L)		
分解度測定方法		
分解度算出方法		
結果		
最終分解度(%) 日目	86 (14 日)	86 = (14 d)
分解速度-1		
分解速度-2		
分解速度-3		
分解速度-4		
分解生成物		
上記結果以外の分解度測定方法及びその結果		
対象物質の7, 14日目の分解度		
その他		
結論	易生分解性	readily biodegradable
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(22)	(22)
備考	20℃で培養した固定汚水種に従うと、2.5ppmのアリルアルコールは、5,10,15,20日後にそれぞれ、理論上のBODの9.1%、55.0%、78.2%、81.8 %まで分解された。	Following incubation of 20 degree C with settled sewage seed, 2.5 ppm of allyl alcohol was degraded to 9.1 %, 55.0 %, 78.2 % and 81.8 % of theoretical BOD after 5, 10, 15, and 20 days respectively.

3.5. BOD-5、CODまたはBOD-5/COD比

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
BOD5の算出方法	その他: ASTM Standard Potassium Dichromate Method	other: ASTM Standard Potassium Dichromate Method
GLP		
試験を行った年		
試験条件		
結果		
濃度		
結果 mgO2/L	2120	2120 =
BOD/COD比	.84	.84
その他		
結論		
注釈	理論上の酸素消費量(THOD)2.21g/g BOD計測値 1.79g/g → > 81%THOD COD計測値 2.12g/g → > の96%THOD	Theoretical oxygen demand (THOD) 2.21 g/g BOD measurement 1.79 g/g ----> 81 % of THOD COD measurement 2.12 g/g ----> 96 % of THOD
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(23)	(23)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
BOD5の算出方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件	20℃で測定されたBOD。	BOD measured at 20 degree celsius.
結果		
濃度		
結果 mgO2/L		
BOD/COD比		
その他		
結論		
注釈	% BODT: 5日後-->9.1% 10日後--> 55% 15日後-->78.2% 20日後--> 81.8%	% BODT: after 5 days ----> 9.1 % after 10 days --> 55 % after 15 days --> 78.2 % after 20 days --> 81.8 %
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(24)	(24)
備考	直ちに生分解性。	Readily biodegradable.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
BOD5の算出方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件	20℃で測定されたBOD。	BOD measured at 20 degree celsius.
結果		
濃度		
結果 mgO2/L		
BOD/COD比		
その他		

結論		
注釈	BOD5:1.6ppm酸素/ppm物質 BODT:2.2ppm酸素/ppm物質。	BOD5: 1.6 ppm O2 / ppm substance, BODT: 2.2 ppm O2 / ppm substance.
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(25)	(25)
備考	直ちに生分解性。	Readily biodegradable.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
BOD5の算出方法		
GLP		
試験を行った年		
試験条件	20°Cで測定されたBOD(汚水種汚泥)。	BOD measured at 20 degree celsius (sewage seed sludge).
結果		
濃度		
結果 mgO2/L		
BOD/COD比		
その他		
結論		
注釈	BOD = 81BODT%	BOD = 81 % of BODT.
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(26)	(26)
備考	直ちに生分解性。	Readily biodegradable.

3.6 生物濃縮性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法	その他: 計算値	other: calculated
生物種		
暴露期間 (日)		
曝露濃度		
排泄期間		
GLP		
試験を行った年		
分析方法		
試験条件		
被験物質溶液		
対照物質		
対照物質名及び分析方法		
試験方式/実施		
結果		
死亡率/行動		
脂質含有量 (%)		
試験中の被験物質濃度		
濃縮係数(BCF)		
取込/排泄定数		
排泄時間		
代謝物		
その他の観察		
結論		
注釈		
信頼性スコア		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(27) (28)	(27) (28)
備考	アリルアルコールは、0.17のその測定値logオクタノール/水系分配係数に基づいて、生物濃縮すると予想されない。	Allyl alcohol is not expected to bioconcentrate based on its measured log octanol/water partition coefficient of 0.17.

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

4.1 魚への急性毒性

試験物質		
同一性		
方法	その他: APHA for static-tank acute toxicity tests	other: APHA for static-tank acute toxicity tests
GLP		
試験を行った年		
魚種、系統、供給者	Carassius auratus	Carassius auratus
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験魚の月齢、体長、体重		
試験用水量あたりの魚体重		
参照物質での感受性試験結果		
じゅん化条件		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	24 時間	24 h
試験方式		
換水率/換水頻度		
連数、1連当たりの魚数		
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
生物学的影響観察		
累積死亡率の表		
統計的結果		
注釈		
対照区における死亡率		
異常反応		
その他の観察結果		
結論		
結果(96h-LC50)	(LC50) 1 mg/L	(LC50) 1 mg/L
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(29)	(29)
備考	LC 50 - mg/l : ----- ジアリルアミン 24時間に対して110 96時間に対して20(pH 7)Monoallylamine 24時間に対して60 96時間に対して27(PH7)Allylglycidylエーテル24時間に対して78 96時間に対して30 Allylchloride 24時間に対して10	LC 50 - mg/l : ----- Diallylamine 110 for 24 h 20 for 96 h (PH 7) Monoallylamine 60 for 24 h 27 for 96 h (PH7) Allylglycidyl ether 78 for 24 h 30 for 96 h Allylchloride 10 for 24 h

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
魚種、系統、供給者	Pimephales promelas	Pimephales promelas
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験魚の月齢、体長、体重		
試験用水量あたりの魚体重		
参照物質での感受性試験結果		
じゅん化条件		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式	止水式	static
換水率/換水頻度		
連数、1連当たりの魚数		
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
生物学的影響観察		
累積死亡率の表		
統計的結果		
注釈		
対照区における死亡率		
異常反応		
その他の観察結果		
結論		
結果(96h-LC50)	(LC50) .32 mg/L	(LC50) .32 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考		

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1935	1935
魚種、系統、供給者	その他	other:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験魚の月齢、体長、体重		
試験用水量あたりの魚体重		
参照物質での感受性試験結果		
じゅん化条件		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間		
試験方式	その他	other:
換水率/換水頻度		
連数、1連当たりの魚数		
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
生物学的影響観察		
累積死亡率の表		
統計的結果		
注釈		
対照区における死亡率		
異常反応		
その他の観察結果		
結論		
結果(96h-LC50)		
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(31)	(31)
備考	種:カエル 経路:膵管外である 投与量:51mg/kg 効果:行動(興奮)、胃腸(吐き気または嘔吐)	Species: Frog Route: parenteral Dose: 51 mg/kg Effects: Behavioral (excitement), Gastrointestinal (Nausea or vomiting)

4.2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)

試験物質	(Vessel : 30.5 cm cuboidal, glass 試験溶液 : 20 liters 濃度 : 100, 10, 1, 0.1 mg/l. pH : 6.5 about 8.5 温度 : 20 + or - 1 degree C.)	(Vessel : 30.5 cm cuboidal, glass Test solution : 20 liters Concentration : 100, 10, 1, 0.1 mg/l pH : 6.5 about 8.5 Temperature : 20 + or - 1 degree C.)
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	Daphnia magna	Daphnia magna
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) .25 mg/L	(EC50) .25 mg/L
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(32)	(32)
備考	96時間のLC50: ----- Pillbug (Asellus 仲化物) 1.0 扁虫 (Dugesia tigrina) 1.0 Sidoswimmer (ガンマルス faciatus) 21 カタツムリ (Helisoma trivolvis) 4.8 Segmental worm (Lumbriculus variegantus) 0.32 Fathead minnow (Pimephales promelas) 0.32	LC 50 for 96 h : ----- Pillbug (Asellus intermedium) 1.0 Flat worm (Dugesia tigrina) 1.0 Sidoswimmer (Gammarus faciatus) 21 Snail (Helisoma trivolvis) 4.8 Segmental worm (Lumbriculus variegantus) 0.32 Fathead minnow (Pimephales promelas) 0.32

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	Asellus intermedius	Asellus intermedius
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 1 mg/L	(EC50) 1 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考		

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	その他: Lumbriculus variegatus	other:: Lumbriculus variegatus
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) .32 mg/L	(EC50) .32 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考		

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	Daphnia magna	Daphnia magna
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		

試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) .4 mg/L	(EC50) .4 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考		

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	その他水生ミミズ	other aquatic worm:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 4 mg/L	(EC50) 4 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考	種:Dugesia tigrina、渦虫、扁形動物。	Species: Dugesia tigrina, Turbellarian, Flatworm.

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1972	1972
生物種、系統、供給者	Crangon crangon	Crangon crangon
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	48 時間	48 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		

結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 1 ~ 10 mg/L	(EC50) 1 ~ 10 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(33)	(33)
備考		

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1972	1972
生物種、系統、供給者	その他水生軟体動物	other aquatic mollusc:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	48 時間	48 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 100 mg/L より大	(EC50) 100 mg/L >;
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(33)	(33)
備考	種:Cerastoderma edule.	Species: Cerastoderma edule.

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1979	1979
生物種、系統、供給者	その他水生軟体動物	other aquatic mollusc:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	48 時間	48 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 1.03 mg/L	(EC50) 1.03 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(34)	(34)
備考	種:Mercenaria mercenaria.	Species: Mercenaria mercenaria.

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1984	1984
生物種、系統、供給者	その他	other:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		

結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	48 時間	48 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) .33 ~ 1 mg/L	(EC50) .33 ~ 1 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(35)	(35)
備考	種:Ophryotrocha diadema、多毛類、環形動物。	Species: Ophryotrocha diadema, Polychaete, Annelida.

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	Daphnia magna	Daphnia magna
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) .25 mg/L	(EC50) .25 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考		

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	その他水生ミミズ	other aquatic worm:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		

結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 1 mg/L	(EC50) 1 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考	種:Dugesia tigrina、渦虫、扁形動物。	Species: Dugesia tigrina, Turbellarian, Flatworm.

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	その他水生軟体動物	other aquatic mollusc:
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 4.8 mg/L	(EC50) 4.8 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考	種:Helisoma trivolvis(ヨーロッパミズヒラ巻貝カタツムリ)。	Species: Helisoma trivolvis, Ramshorn snail.

試験物質		
同一性		
方法		
GLP		
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	Gammarus fasciatus	Gammarus fasciatus
エンドポイント		
試験物質の分析の有無		
試験物質の分析方法		
結果の統計解析手法		
試験条件		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		
参照物質での感受性試験結果		
試験開始時の時間齢		
希釈水源		
希釈水の化学的性質		
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		
試験物質の溶液中での安定性		
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		
暴露容器		
暴露期間	96 時間	96 h
試験方式		
連数、1連当たりの試験生物数		
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		
試験温度範囲		
照明の状態		
平均測定濃度の計算方法		
結果		
設定濃度		
実測濃度		
遊泳阻害数		
累積遊泳阻害数の表		
注釈		
対照区における反応は妥当か		
対照区における反応の妥当性の考察		
結論		
結果(48h-EC50)	(EC50) 21 mg/L	(EC50) 21 mg/L =
信頼性スコア		
キースタディ		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献	(30)	(30)
備考		

4.3 水生植物への毒性(例えば藻類)

4.4 微生物への毒性(例えばバクテリア)

4.5.A 魚への慢性毒性

4.5.B 水生無脊椎動物への慢性毒性

4.6.A 陸生植物への毒性

4.6.B 土壌生物への毒性

4.6.C 他の非哺乳類陸生種(鳥類を含む)への毒性

4.6.1 底生生物への毒性

4.7 生物学的影響モニタリング(食物連鎖による蓄積を含む)

4.8 生体内物質変換と動態

4.9 追加情報

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

5.1 トキシコキネティクス、代謝、分布

5.2.A 急性経口毒性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他: Intragastric administration	other: Intragastric administration
GLP適合		
試験を行った年	1948	1948
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 64 mg/kg bw	(LD50) 64 mg/kg bw =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(36)	(36)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 99 mg/kg bw	(LD50) 99 mg/kg bw =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考	体重: 170-252g	Weight : 170 - 252 g.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	マウス	mouse
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		

各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 96 mg/kg bw	(LD50) 96 mg/kg bw =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 71 mg/kg bw	(LD50) 71 mg/kg bw =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 105 mg/kg bw	(LD50) 105 mg/kg bw =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考	体重: 111-143g	Weight : 111 - 143 g.

5.2.B 急性吸入毒性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他: a modified version by Carpenter and his associates	other: a modified version by Carpenter and his associates
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		

溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LC50) 76 ppm	(LC50) 76 ppm =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年		
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LC50) 165 ppm	(LC50) 165 ppm =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(38)	(38)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年		
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LC50) 1060 ppm	(LC50) 1060 ppm =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(38)	(38)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		

試験を行った年	1985	1985
試験系(種/系統)	マウス	mouse
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LC50) .5 mg/L(空気)	(LC50) .5 mg/L air =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(39) (40)	(39) (40)
備考		

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	いいえ	no
試験を行った年	1932	1932
試験系(種/系統)	サル	monkey
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LCLo) 1000 ppm	(LCLo) 1000 ppm =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(41)	(41)
備考		

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	いいえ	no
試験を行った年	1932	1932
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LCLo) 1000 ppm	(LCLo) 1000 ppm =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(41)	(41)
備考	-感覚器への影響と特殊感覚(虹彩炎)。肺、胸部または呼吸器(呼吸困難)。血液(出血)	- Effects on sense organs and special sens (iritis). Lungs, thorax or respiration (dyspnea). Blod (haemorrhage)

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	いいえ	no
試験を行った年	1986	1986
試験系(種/系統)	ヒト	human
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LCLo) 1000 ppm	(LCLo) 1000 ppm =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(42)	(42)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	その他の被験物質 (分析報告で179-312, E104-3と同定)	other TS (identified in the analytical report, as 179-312, E104-3)
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1981	1981
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LC50) 1.76 mg/L(空気)	(LC50) 1.76 mg/L air =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(43)	(43)
備考	ラット5匹/性別・濃度	5 rats/sex/concentration

5.2.C 急性経皮毒性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1948	1948
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 45 mg/kg bw	(LD50) 45 mg/kg bw =

雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(36)	(36)
備考		

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
LD50値又はLC50値	(LD50) 89 mg/kg bw	(LD50) 89 mg/kg bw =
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		

5.2.D 急性毒性(その他の投与経路)

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1986	1986
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	腹腔内	intraperitoneal
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
毒性値	(LD50) 37 mg/kg bw	(LD50) 37 mg/kg bw =
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(44)	(44)
備考		

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	腹腔内	intraperitoneal
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		

臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
毒性値	(LD50) 42 mg/kg bw	(LD50) 42 mg/kg bw =
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	マウス	mouse
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	腹腔内	intraperitoneal
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
各用量群での死亡数		
臨床所見		
剖検所見		
その他		
結論		
毒性値	(LD50) 60 mg/kg bw	(LD50) 60 mg/kg bw =
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		

5.3.A 皮膚刺激/腐食

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
pH		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1948	1948
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
一次刺激スコア		
皮膚反応等		
その他		
結論		
皮膚刺激性	刺激性なし (刺激性なし)	not irritating (not irritating)
皮膚腐食性	刺激性なし (刺激性なし)	not irritating (not irritating)
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(45)	(45)
備考	10 mg/24 h 開放	10 mg/24 h open.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
pH		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
一次刺激スコア		

皮膚反応等		
その他		
結論		
皮膚刺激性	刺激性なし (刺激性なし)	not irritating (not irritating)
皮膚腐食性	刺激性なし (刺激性なし)	not irritating (not irritating)
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考	0.5 ml(無希釈のアリルアルコール)を無傷及び剥離部位に塗布した。塗布部位をガーゼパッチで覆った。ウサギ3匹中1匹が、以前アリルアルコールを無傷皮膚に24時間塗布していたところに軽微な紅斑を呈した。この紅斑は48時間の終わりまでに消失し、その他の反応は見られなかった。	0.5 ml (undiluted allyl alcohol) was applied to intact and scarified areas. The areas were covered with patches of gauze. One rabbit of three showed a slight erythema where allyl alcohol had been applied to the intact skin 24 hours previously. This had disappeared by the end of 48 hours, and no other reactions were noted.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
pH		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年		
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
二次刺激スコア		
皮膚反応等		
その他		
結論		
皮膚刺激性	高い刺激性あり	highly irritating
皮膚腐食性	高い刺激性あり	highly irritating
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(46)	(46)
備考		

5.3.B 眼刺激/腐食

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
試験のタイプ		
GLP適合	いいえ	no
試験を行った年	1946	1946
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
腐食	高い刺激性あり (刺激性あり)	highly irritating (irritating)
刺激点数: 角膜		
刺激点数: 虹彩		
刺激点数: 結膜		
その他		
結論		
眼刺激性	高い刺激性あり (刺激性あり)	highly irritating (irritating)
眼腐食性	高い刺激性あり (刺激性あり)	highly irritating (irritating)
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(47)	(47)
備考	20 mg、重度	20 mg, severe.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
試験のタイプ		
GLP適合	いいえ	no
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ヒト	human
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		

投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
腐食	高い刺激性あり (刺激性あり)	highly irritating (irritating)
刺激点数: 角膜		
刺激点数: 虹彩		
刺激点数: 結膜		
その他		
結論		
眼刺激性	高い刺激性あり (刺激性あり)	highly irritating (irritating)
眼腐食性	高い刺激性あり (刺激性あり)	highly irritating (irritating)
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(48)	(48)
備考	ヒト : 25 ppm で重度	Human : 25 ppm severe.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
試験のタイプ		
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年		
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量		
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路		
観察期間(日)		
その他の試験条件		
統計学的処理		
結果		
腐食	高い刺激性あり	highly irritating
刺激点数: 角膜		
刺激点数: 虹彩		
刺激点数: 結膜		
その他		
結論		
眼刺激性	高い刺激性あり	highly irritating
眼腐食性	高い刺激性あり	highly irritating
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(46)	(46)
備考		

5.4 皮膚感作

5.5 反復投与毒性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1978	1978
試験系(種/系統)	ラット	rat
	Wistar	Wistar
性別(雄:M、雌:F)	オス/メス	male/femal
投与量	50, 100, 200 or 800 ppm.	50, 100, 200 or 800 ppm.
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	経口: 飲料水	oral: drinking water
対照群に対する処理		
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	15 週	15 weeks
投与頻度		
回復期間(日)	一晩食物なし	an overnight period without food
試験条件		
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
眼科学的所見(発生率、重篤度)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
注釈		
結論		
NOAEL (NOEL)	50 ppm	50 ppm
LOAEL (LOEL)		

NOAEL/LOAELの推定根拠		
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(49)	(49)
備考	血清の血液学検査または分析の結果として、アリルアルコールによる影響は見られなかった。臓器重量変化としては、肝臓、脾臓および腎臓の相対的体重増加だけが投与に起因していると思われた。3つの臓器は全て、800 ppm投与の両性で影響を受けたが、腎臓は200 ppmの両性および100 ppmの雌でも影響を受けた。剖検または組織病理学的検査からは、アリルアルコール投与による影響は見られなかった。	There were no effects attributable to allyl alcohol in the results of haematological examinations or analyses of serum. The only changes in organ weight that could be attributed to treatment were increased values for the relative weights of liver, spleen and kidney. All 3 organs were affected in both sexes given 800 ppm and the kidneys were also affected in both sexes given 200 ppm and in females given 100 ppm. No effects attributable to allyl alcohol treatment were seen at autopsy or in the histopathological examination.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1951	1951
試験系(種/系統)	ラット	rat
	その他	other
性別(雄:M、雌:F)		
投与量	4 and 9.7 mg/kg/day	4 and 9.7 mg/kg/day
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	経口:食餌投与	oral: feed
対照群に対する処理		
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	30 days	30 days
投与頻度		
回復期間(日)		
試験条件		
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
眼科学的所見(発生率、重篤度)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
注釈		
結論		
NOAEL (NOEL)	4 mg/kg bw/day	4 mg/kg bw/day =
LOAEL (LOEL)		
NOAEL/LOAELの推定根拠		
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(50)	(50)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1958	1958
試験系(種/系統)	ラット	rat
	その他	other
性別(雄:M、雌:F)		
投与量	20,40,60,100,150 ppm	20,40,60,100,150 ppm
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	吸入	inhalation
対照群に対する処理		
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	2 から 12 週	2 to 12 weeks
投与頻度	7 時間/日	7 hours/day
回復期間(日)		
試験条件		
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
眼科学的所見(発生率、重篤度)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		

血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
注釈		
結論		
NOAEL (NOEL)	20 ppm	20 ppm =
LOAEL (LOEL)	40 ppm	40 ppm =
NOAEL/LOAELの推定根拠		
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(51)	(51)
備考		

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合		
試験を行った年	データなし	no data
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)	その他	other
投与量	2,5,7 ppm	2,5,7 ppm
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	吸入	inhalation
対照群に対する処理		
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	7 時間/日	7 hours per day
投与頻度	34 暴露(2ppm),60 暴露(5ppm),28 暴露(7ppm)	34 exposures(2ppm),60 exposures(5ppm),28 exposures(7ppm)
回復期間(日)		
試験条件		
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
眼科学的所見(発生率、重篤度)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
注釈		
結論		
NOAEL (NOEL)	2 ppm	2 ppm =
LOAEL (LOEL)		
NOAEL/LOAELの推定根拠		
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(52)	(52)
備考	またモルモット、ウサギおよびイヌも2 ppmに曝露させたところ、影響は見られなかった。	Guinea pigs, rabbits and dogs were also exposed to 2 ppm with no effects.

試験物質名	2-フロベン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合		
試験を行った年	データなし	no data
試験系(種/系統)	ラット	rat
性別(雄:M、雌:F)		
投与量	0.15 to 70 mg/kg/day equivalent	0.15 to 70 mg/kg/day equivalent
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	経口: 飲料水	oral: drinking water
対照群に対する処理		
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	90 日	90 days
投与頻度		
回復期間(日)		
試験条件		
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		

臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
眼科学的所見(発生率、重篤度)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
注釈		
結論		
NOAEL (NOEL)	12 mg/kg	12 mg/kg =
LOAEL (LOEL)		
NOAEL/LOAELの推定根拠		
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(51)	(51)
備考	体重増加が抑制(42および70 mg/kg)、肝壊死部位が再生と共に限局化(70 mg/kg)および肝臓および/または腎臓の相対的体重の増加(29、42および70 mg/kg)。	Decreased body weight gain(42 and 70 mg/kg), well localised areas of hepatic necrosis with regeneration (70 mg/kg) and increased relative liver and/or kidney weights(29,42 and 70 mg/kg).

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1939	1939
試験系(種/系統)	ウサギ	rabbit
性別(雄:M、雌:F)		
投与量	0.005, 0.05, 2.5 mg/kg/day listed	0.005, 0.05, 2.5 mg/kg/day listed
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	経口: 飲料水	oral: drinking water
対照群に対する処理		
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	8 月	8 months
投与頻度		
回復期間(日)		
試験条件		
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
眼科学的所見(発生率、重篤度)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
注釈		
結論		
NOAEL (NOEL)	.05 mg/kg	.05 mg/kg =
LOAEL (LOEL)		
NOAEL/LOAELの推定根拠		
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(53)	(53)
備考	2.5 mg/kgで、肝臓の出血および壊死、曲腎尿管上皮のジストロフィーならびに脾臓の広範性網状内皮過形成が見られ、ウサギのアリルアルコール反復曝露に対する感受性はラットより高いことが示された。	2.5 mg/kg produced liver hemorrhage and necrosis dystrophy of the epithelium of kidneys convoluted tubules, and diffuse reticular-endothelial hyperplasia in the gulp of the spleen suggesting the rabbit is more sensitive to repeated allyl alcohol exposures than the rat.

5.6.A 遺伝子突然変異

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他: Ames Test 遺伝子突然変異: 細菌による復帰突然変異試験(Ames試験など)	other: Ames Test bacterial reverse mutation assay (e.g. Ames test) - gene mutation
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1981	1981
細胞株又は検定菌	S. typhimurium TA 1535, TA 1537, TA 1538, TA 98 and TA 100	S. typhimurium TA 1535, TA 1537, TA 1538, TA 98 and TA 100
代謝活性化(S9)の有無	有無ともに	with and without
試験条件	0.05 ul/plate	0.05 ul/plate
結果		
細胞毒性		
代謝活性ありの場合		
代謝活性なしの場合		
変異原性		

代謝活性ありの場合		
代謝活性なしの場合		
注釈		
結論		
遺伝子突然変異	陰性	negative
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(54)	(54)
備考		

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
	遺伝子突然変異: 細菌による復帰突然変異試験(Ames試験など)	bacterial reverse mutation assay (e.g. Ames test) - gene mutation
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1980	1980
細胞株又は検定菌	microsomal assay	microsomal assay
代謝活性化(S9)の有無	有	with
試験条件	50 ug/plate	50 ug/plate
結果		
細胞毒性		
代謝活性ありの場合		
代謝活性なしの場合		
変異原性		
代謝活性ありの場合		
代謝活性なしの場合		
注釈		
結論		
遺伝子突然変異		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(55)	(55)
備考	5つの種のうち1つ以上に変異原性。	Mutagenic in more than one of five strains.

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
	遺伝子突然変異: 細菌による復帰突然変異試験(Ames試験など)	bacterial reverse mutation assay (e.g. Ames test) - gene mutation
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年	1977	1977
細胞株又は検定菌	microsomal assay	microsomal assay
代謝活性化(S9)の有無	有無ともに	with and without
試験条件	0.1 to 100 ul/plate	0.1 to 100 ul/plate
結果		
細胞毒性		
代謝活性ありの場合		
代謝活性なしの場合		
変異原性		
代謝活性ありの場合		
代謝活性なしの場合		
注釈		
結論		
遺伝子突然変異	陰性	negative
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(56)	(56)
備考		

5.6.B 染色体異常

5.7 in vivo遺伝毒性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等		
注釈		
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
試験のタイプ	明記されず	unspecified
GLP適合	データなし	no data
試験を行った年		
試験系(種/系統)	ハムスター (その他)	hamster (other)
性別(雄:M、雌:F)		
投与量	0 , 2 mg/kg	0 , 2 mg/kg
投与経路	強制経口投与	oral: gavage
試験期間	60 週(study duration:92 週)	60 weeks(study duration:92 weeks)
試験条件		
統計学的処理		
結果		
性別及び投与量別の結果		
遺伝毒性効果		
NOAEL (NOEL)		
LOAEL (LOEL)		
統計的結果		
注釈	結果:陰性。	Result: negative .

結論		
In vivo遺伝毒性		
注釈		
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(57)	(57)
備考		

5.8 発がん性

5.9.A 受胎能

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
試験のタイプ		
GLP適合		
試験を行った年	1990	1990
試験系(種/系統)	ラット	rat
	Sprague-Dawley	Sprague-Dawley
性別(雄:M、雌:F)	オス/メス	male/female
投与量	25 mg/kg	25 mg/kg
各用量群(性別)の動物数		
溶媒(担体)		
投与経路	強制経口投与	oral: gavage
試験期間	15 週	15 weeks
交配前暴露期間	1-11週 (オス) なし (メス)	week 1-11 (オス) none (メス)
試験条件	(投与頻度) 12週まで7 日/週、13週から33週で5日/週	(投与頻度) 7 days per week up to week 12 and 5 days per week from week 13 to week 33.
統計学的処理		
結果		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
妊娠率(妊娠個体数/交配数)		
交尾前期間(交配までの日数及び交配までの性周期回数)		
妊娠期間(妊娠0日から起算)		
妊娠指数(生存胎仔数/着床痕数)		
哺乳所見		
性周期変動		
精子所見		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
尿検査所見(発生率、重篤度)		
死亡数(率)、死亡時間		
剖検所見(発生率、重篤度)		
着床数		
黄体数		
未熟卵胞数		
臓器重量		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
実際に摂取された量		
用量反応性		
同腹仔数及び体重		
性比		
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)		
離乳までの分娩後生存率		
新生仔所見(肉眼的な異常)		
生後発育及び発育率		
陰開口又は精巣下降(包皮分離)		
生殖器-肛門間距離などその他の観察事項		
臓器重量		
統計的結果		
注釈		
結論		
P1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	25 mg/kg bw/day	25 mg/kg bw/day =
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		
注釈	対照およびアリルアルコール投与群において見られるが、異常胎児の週当たり発生率は低く、生存胎児の3%未満であり、通常0 %乃至2 %である。胎児の発育に顕著な効果は見られなかった。アリルアルコール投与による生殖への悪影響は認められなかった。	It may be seen that in the control and allyl alcohol treated groups, the weekly incidence of abnormal fetuses was low, never exceeding 3 % of live fetuses and more commonly between 0 % and 2 %. No effect were noted on foetal development. No adverse reproductive effects were observed with allyl alcohol treatment.
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(58)	(58)
備考		

5.9.B 発生毒性

試験物質名	2-プロペン-1-オール	allyl alcohol
CAS番号	107-18-6	107-18-6
純度等	データなし	no data
注釈		
方法		
方法/ガイドライン		
GLP適合		
試験を行った年	1985	1985
試験系(種/系統)	ラット	rat
	Sprague-Dawley	Sprague-Dawley
性別(雄:M、雌:F)	メス	female

投与量	10, 100, 1000 ug/foetus	10, 100, 1000 ug/foetus
各用量群(性別)の動物数		
投与経路	その他: intra-amniotic injection	other:: intra-amniotic injection
試験期間	妊娠 20 日	Day 20 of gestation
交配前暴露期間	妊娠 13 日	Day 13 of gestation
試験条件		
統計学的処理		
結果		
死亡数(率)、死亡時間		
用量あたり妊娠数		
流産数		
早期/後期吸収数		
着床数		
黄体数		
妊娠期間(妊娠0日から起算)		
体重、体重増加量		
摂餌量、飲水量		
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		
血液学的所見(発生率、重篤度)		
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		
剖検所見(発生率、重篤度)		
臓器重量(総子宮量への影響)		
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		
同腹仔数及び体重		
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)		
性比		
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)		
生後発育		
分娩後生存率		
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)		
実際に投与された量		
用量反応性		
統計的結果		
注釈		
結論		
Pに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		
注釈	アリルアルコール処置は、再吸収された胎児発生率の用量依存的な増加をひきおこし、1匹の胎児あたり100ugおよび1.000ugにおいて有意性がみられた。1.000ugのアリルアルコールを注入された胎児の11%に奇形がみられた。	Allyl alcohol treatment caused a dose-dependent increase in the incidence of resorbed foetuses, with significance found at 100 ug and 1.000 ug/foetus. Eleven per cent of the foetuses injected with 1.000 ug of allyl alcohol were malformed.
信頼性		
信頼性の判断根拠		
出典		
引用文献(元文献)	(59)	(59)
備考	アクロレインは、0.1 ug/胎仔のような少量で吸収数の有意な増加を引き起こす、最も胚致死的な薬剤であった; 他の薬剤は、アクロレインの100-10000倍以上の用量で胚致死を示した。アクロレインはまた、検査された薬剤中で最も催奇性があった; 胎仔奇形の発生率に有意な増加を引き起こした5 ug/胎仔と同様に低い用量。検査された他の化合物の中で、用量1.000 ug/胎仔のグリシドールのみが対照と比較してかなりの数の奇形胎仔を誘発した。これらの結果は、アクロレインそれ自体が催奇性の原因であることを示唆する。 対照群: 0.9 % NaCl 10 ul	Acrolein was the most embryolethal of drugs, causing a significant increase in resorptions with a little as 0.1 ug/foetus ; the other drugs were embryolethal at doses 100-10000 times over that of acrolein. Acrolein was also the most teratogenic at the drugs tested ; a dose as low as 5 ug/foetus it caused a significant increase in the incidence of foetal malformation. Of the other compounds tested, only glycidol at a dose of 1.000 ug/foetus induced a significant number of malformed foetuses compared to control. These results suggest that it is acrolein itself that is responsible for its teratogenicity. Control group : 0.9 % NaCl 10 ul

5.10 その他関連情報

5.11 ヒト暴露の経験

6 参考文献

文献番号	詳細
1	Kirk-Othmer Encyclopedia of Chemical Technology-3rd Edition (1978)
2	Hansh, C., and Leo, A.J.; Medchem Project Issue 26 Claremont, CA : Pomona College (1985).
3	Handbook of Chemistry and Physics, 74th Edition, 3-31, (1993-1994).
4	Sax NI; Dangerous Properties of Industrial Chemicals, 7th Edition, p111-112, (1989).
5	SRC, Syracuse Research Corporation; Calculated Values (1988), as cited in EnviroFate Data Base, (1994).
6	Japanese reference 1990
7	Flick, E.K.; Industrial Solvents Handbook 3rd edition.
8	The Merk Index Tenth Edition (1983)
9	National Fire Protection Association; Fire Protection Guide on Hazardous Materials 4th ed. Boston MA.
10	Sax, N.I. Dangerous Properties of Industrial Materials. 6 th ed. New-York, Van Nostrand Reinhold, 159 (1985);
11	Neely WB; Chemicals in the Environment, Marcel Dekker, (1980), as cited in Hazardous Substance Data Base (HSDB), (1994).
12	Graphical Exposure Modeling System; Fate of Atmospheric Pollutants, (1986), as cited in Hazardous Substance Data Base (HSDB), (1994).
13	Mansour M; Bull. Environ. Contam. Toxicol., 34, 89-95, (1985), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).
14	Anbar M., Neta P.; Int. J. Appl. Rad. Isot., 18, 493-523, (1967), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).
15	Knoevenagel K., Himmelreich R.; Arch. Environ. Contam., 4, 324-333, (1976), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).
16	Scheunert, D., Vockel, W., Kleim and F. Korte; J. Environ. Sci. Health, B 16 (6), 719-742 (1981) "Fate of 14 C-Allyl alcohol Herbicide in soils and Crop Residues".
17	Kacpura B ; Prace Centralnego Instytutu Ochrony Pracy 33 (117) : 111-20 (1983).
18	Hampton C.V. et al.; Environ. Sci. Technol., 16, 287-298, (1982).
19	Hine J., Mookerjee P.K.; Journal of Organic Chemistry, 40, 292-298, (1975).
20	Boublik T. et al.; the vapour pressures of pure substances: selected values of the temperature dependence of the vapour pressures of some pure substances in the normal and low pressure region, Elsevier Sci., Amsterdam, (1984), as cited in EnviroFate Database, (1994).
21	Kenaga E.E.; Ecotox. Environ. Safety, 4, 26-38, (1980), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).
22	Sasaki S.; Japanese MITI Screening biodegradability test (1978).
23	A.L.Bridie, C.J.M. Wolff and Winter; Water Research Vol-13, PP 627 to 630 (1979) "BOD and COD of Some Petrochemicals".
24	Lamb C.B. and Jenkins G.F.; Proc. 8th Indus. Waste Conf., Purdue University, p329, (1952), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).
25	Mills E.J. and Stack V.T.; Proc. 8th Indus. Waste Conf., Purdue University, Extension series 83, 492-517, (1954), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).
26	Bridie A. et al.; Water Research, 13, 627-, (1979), as cited in Hazardous Substances Data Base (HSDB), (1994).

27	Hansch C. et al.; Medchem project Issue No 19, (1985), (citation).
28	HSDB, (1994).
29	A.L.Bridie, C.J.M. Wolff and Winter Water Research Vol-13, PP 627 to 630 (1979) "BOD and COD of Some Petrochemicals".
30	Ewell W.S., Gorsuch J.W. et al; Simultaneous evaluation of the acute effects of chemicals on seven aquatic species, Environ. Toxicol. Chem., 5(9), 831-840, (1986), as cited in the AQUIRE Aquatic Toxicity Database.
31	Arch. Int. Pharmacodyn. Ther., 50, p296, (1935), as cited in RTECS
32	William S. Ewell et al; "Simultaneous evaluation of the acute effects of chemicals on seven aquatic species", Environmental Toxicology and Chemistry, Vol. 5, p 831-840, (1986).
33	Portmann J.E.; Results of acute toxicity tests with marine organisms, using a standard method, Marine Pollution and Sea Life, Fishing News (Books) Ltd, London, England, 212-217, (1972), as cited in AQUIRE.
34	Davis H.C. and Hidu H.; Effects of pesticides on embryonic development of clams and oysters and on survival and growth of the larvae, Fish. Bull., 67(2), 393-404, (1979), as cited in AQUIRE.
35	Parker J.G.; The effects of selected chemicals and water quality on the marine polychaete Ophryotrocha diadema, Water Research, 18(7), 865-868, (1984), as cited in AQUIRE.
36	Smyth, Carpenter; Journal of industrial hygiene and toxicology 30, 63 (1948) ; RTECS (1993).
37	M.K. DUNLOP, et al. A.M.A. Archives of Industrial Health Vol. 18, 303-311, Oct.,1958 "The toxicity of Allyl Alcohol" I. Acute and chronic toxicity.
38	RTECS (1993)
39	Izmerov, N.F., et al.; Toxicometric Parameters of Industrial Toxic Chemicals under International Projects, GKNT, 1985.
40	RTECS (1993).
41	J.A.M.A. (1932) 98, 2269; cited in RTECS
42	Toxicol.Drugs Chem. 1969, 86 (1986) as cited in RTECS
43	FMC Corp. MSDS (12/5/88) and report 179-312, E104-3
44	Toxicology and Applied Pharmacology 83, 108 (1986)
45	Journal of Industrial Hygiene and Toxicology, 30, 63 (1948) ; RTECS 1993
46	Food Medicals and Chemicals Corp.(FMC) MSDS (12/05/86)
47	American Journal of Ophthalmology 29 ; 1363 (1946) ; RTECS
48	M.K. DUNLOP, et al. A.M.A. Archives of Industrial Health Vol. 18, 303-311, Oct.,1958 "The toxicity of Allyl Alcohol" I. Acute and chronic toxicity. RTECS (1993)
49	F.B.M. Carpanini, et al.; Toxicology, 9, 29-45 (1978) "Short-term toxicity of allyl alcohol in rats".
50	Smith HF et al.(1951) cited in Rowe VK and McCollister SB (1982), in Patty's Industrial Hygiene and Toxicology , 3rd Edit., J.wiley & Sons NY, vol.2C p1665.
51	Dunlap et al.(1958) cited in Rowe VK and MC Collister SB (1982), in Patty's Industrial Hygiene and Toxicology, 3rd edition, vol 2C .
52	Torkelson et al.(1959) cited in Rowe VK and MC Collister SB (1982), in Patty's Industrial Hygiene and Toxicology, 3rd edition vol 2C.
53	Al'meev et al.(1939) cited in Rowe VK and MC Collister SB (1982), in Patty's Industrial Hygiene and Toxicology, 3rd edition, vol 2C .

54	Paola Principe, et al. ; J. Sci. Food Agric., 32 826-832 (1981) "Mutagenicity of Chemicals of Industrial and Agricultural Relevance in Salmonella, Streptomyces and Aspergillus".
55	Teratogen. Carcino. Mutagen.(1980) vol 1, p259 as cited in the Registry of Toxic Effects of Chemical Substances Database.
56	Activity of C-8013-132-6 in the Salmonella Microsomal Assay for Bacterial Mutagenicity, Microbiological Associates, Bethesda MD/USA, Project No T1150(10 August 1977) .
57	William Lijinsky ; Annals New-York Academy of Science ; 534,pp 246-254 (1988) "Chronic Studies in Rodents of Vinyl Acetate and Compounds Related to Acrolein.
58	Jenkinson, P.C. and Anderson D.; Mutation Research, 229 (2),173-184 (1990) "Malformed fetuses and karyotype abnormalities in the offspring of cyclophosphamide and allyl alcohol treated male rats"
59	Valerie L. Slott and Barbara F. Hales; Teratology 32 : 65-72(1985) "Teratogenicity and Embryolethality of Acrolein and Structurally Related Compounds in Rats".